

令和 7 年度 事業 計 画

本格的な超高齢社会を迎え、地域の連帯感の希薄化が進む中、高齢者を取り巻く環境は、医療、介護、介護予防の問題をはじめ、孤立する高齢者の増加や交通事故、特殊詐欺被害の発生など課題が山積しています。

こうした中、私たちは、地域共生社会の実現に向けて、「健康・友愛・奉仕」のスローガンのもと、地域に住む全ての高齢者の生きがいと健康の増進、高齢者相互の支え合い活動や長年培った知識・経験の次世代への継承などを通じて、「地域の絆」の形成に貢献できるよう、クラブ活動を推進していきます。

第 53 回全国老人クラブ大会宣言

- 一．健康長寿を目指す「健康活動」の推進
- 一．暮らしを見守る「支え合い活動」の展開
- 一．高齢期を豊かにする「生きがい活動」の充実
- 一．あらゆる世代と連携した「地域貢献活動」の推進
- 一．高齢者の尊厳が守られる「社会保障制度」の確立

◎ 令和 7 年度 全国メインテーマ

のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを

<健康寿命>

- 健康寿命をのばし、自立した生活、生きがいある生活の実現を目指します。
- 仲間や地域の高齢者とともに継続的な健康活動に取り組みます。

<地域づくり>

- 他世代や関係団体と連携し、安全・安心の住みよい地域づくりを目指します。
- 元気高齢者の知識・経験・活力を生かす場づくり・機会づくりを広げます。

◎ 令和 7 年度 シニアクラブ静岡県メインテーマ みんなで地域の絆を広めよう！

< 重点項目 >

1 地域共生社会の実現に向けた取組

I

2025 年問題と言われる本格的な超高齢社会が到来し、昨年、政府は「高齢社会対策大綱」を見直し、「孤独・孤立対策推進法」と「認知症基本法」が施行されました。

高齢者が住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らすため、また、全て

の人々が住み慣れた地域で、生きがいを持って暮らすことのできる地域共生社会の実現に向け、私たちシニアクラブへの期待は大きなものがあります。

このため、自治会など地域の諸団体と連携・協働し、以下の課題への取組を促進します。

- (1) 高齢者の孤独・孤立を防ぐため、健康づくり活動や支え合い活動などの仲間づくり活動
- (2) 認知症の人やその家族の暮らしを支える見守りや声掛け、趣味活動への誘い掛けなどの友愛活動
- (3) 関係団体と連携した生活課題・地域課題の解消に向けた取組

2 会員増強運動の推進

II

近年、解散・休会によるクラブ未設置地区が増加するなど、クラブ活動の存続すら危惧される事態となっています。

これ以上仲間を減らさないという強い意識の下、会員増強に関する新たな動向にも留意しつつ、県・市町連合会、単位クラブ、会員が一丸となって、令和6年度に改めてスタートした会員増強運動を推進していきます。

広域クラブの設置など新たな動向に関しては、全国老人クラブ連合会での検討状況も踏まえ、市町連合会への支援や情報提供に取り組みます。

3 健康づくり・生活支援活動の推進

III

健康長寿の実現のためには、高齢者自らが健康づくりや支え合い活動に関心を寄せ、仲間と共に実践していくことが極めて重要です。

単位クラブ等におけるフレイル予防活動や友愛活動を基盤とした幅広い生活支援活動等、これまでの活動の実績を活かし、健康づくり・生活支援活動のすそ野を広げるよう支援します。

4 交通安全対策の推進と高齢消費者被害の撲滅

IV

令和6年、県内交通事故死者の内高齢者事故が6割を占め、このうち約4割が歩行中に発生しています。

このため、交通安全講座の開催、運転免許証自主返納制度の周知など、**高齢者交通安全運動の徹底**を図っていきます。

また、振り込め詐欺等特殊詐欺について、その被害が60歳代以上や女性に集中しているという特徴があります。引続き消費者被害防止に資する研修会の開催、情報提供等の充実・強化を図っていきます。

【主要事業】

1 健康増進活動 3,850 千円

(1) 高齢者いきいき創造広場開催事業（Ⅲ） 1,600 千円

日頃からシニアクラブ活動の中で取り組む芸能、文化活動等の成果を発表することにより、広く県民とのふれあいを深めるとともに、高齢者の生きがいづくり、社会参加を促進する。

日 時：令和7年9月25日(木)

会 場：長泉町文化センター ベルフォーレ

(2) 健康づくり支援事業（Ⅲ） 900 千円

高齢者の健康づくりを推進するため、「レクリエーションダンス」や「健康ウォーキング(ノルディックウォーク)」普及講座の開催等、地域性に応じた健康づくり活動を推進する。

(3) シニアスポーツ普及推進事業（Ⅲ） 1,350 千円

高齢者スポーツの普及を進めるため、「県グラウンド・ゴルフ大会」及び「県輪投げ大会」を開催する。

ア 県グラウンド・ゴルフ大会

令和7年10月21日(火)

【会場】島田市川越広場 島田市グラウンド・ゴルフ場

イ 県輪投げ大会

令和7年12月12日(金)

【会場】焼津市総合体育館「シーガルドーム」

2 友愛・奉仕促進活動 4,418 千円

(1) 地域支え合い推進事業（Ⅰ、Ⅱ） 2,450 千円

市町連合会と連携して、シニアクラブの仲間づくりを通じた高齢者の相互支援活動の充実や安全・安心ネットワークの構築等の地域支え合いに資する各種取組みを行う。

また、「地域の絆」推進運動や友愛活動等高齢者の地域支え合い活動に係る普及・啓発を推進する。

(2) ふじさんっこ応援隊推進事業（Ⅰ） 1,968 千円

静岡県が提唱する「ふじさんっこ応援隊」活動に積極的に参画し、高齢者の持つ豊富な知識と経験を生かした「子どもの見守り」、「子ど

もとの交流活動」等の地域の子育て支援活動を通じて、高齢者の社会参画を促進する。

データベース化した「ふじさんっこ応援隊基本台帳」をホームページに掲載し積極的活用を促すとともに、併せて、台帳への登載グループの更新を行う。

3 地域福祉等研修活動

4,838 千円

(1) 地域福祉人材養成事業（Ⅱ）

2,200 千円

新任単位クラブ会長研修会、女性リーダー研修会等を開催することにより、シニアクラブ活動を推進する人材養成を進め、組織の強化と活動の活性化を図る。

(2) 全国連合会研修会等参加事業（Ⅱ）

1,200 千円

全国老人クラブ連合会や関東甲信越静ブロック老人クラブ連絡協議会が主催する各種の研修事業や会議等へ参加して研鑽を深め、情報を収集することにより、リーダー養成や組織強化を図る。

また、令和8年度に本県が主催者の一翼を担う関東甲信越静ブロック老人クラブリーダー研修会の開催に向けた準備を進める。

(3) 介護保険利用者意識事前啓発事業（Ⅰ、Ⅲ）

1,438 千円

介護保険制度の適正利用やフレイル予防を図るために単位クラブ会長など地域のリーダーを対象とした研修会の開催や、広報紙等を活用した啓発などを行う。

4 仲間づくり推進活動

5,800 千円

(1) 活動推進相談員活動費助成事業（Ⅱ、Ⅳ）

1,800 千円

市町連合会に設置されたクラブ活動推進相談員の活動費を助成し、単位クラブの運営全般にわたる相談指導活動を推進する。

(2) クラブ解散・休会等再興支援事業（Ⅱ）

1,500 千円

市町連合会に設置されたクラブ活動推進相談員や市町連合会による、解散・休会等の状態又は陥りそうな状態にあるクラブの支援のための活動費を助成し、クラブの解散・休会の阻止やクラブ未組織地域の組織化を進める。

- (3) **若手高齢者組織化・活動推進事業（Ⅱ、Ⅲ）** 700 千円
会員の減少、高齢化が進むクラブ組織を活性化するため、県及び市町若手委員会の活動を推進するとともに、ニュースポーツ等の普及推進を検討し、若手会員の入会を促進する。

- (4) **地域クラブ活性化事業（Ⅱ、Ⅲ）** 1,800 千円
市町連合会と連携し、市町連合会・単位クラブの基盤強化のための取組や健康づくり（介護予防）などの活動を促進するとともに、併せて、クラブ活動功労者や優良クラブ等の表彰を行い、クラブの活性化を図る。
また、社会生活の充実や連絡手段の合理化に有用なスマートフォンの活用や誰もが取り組みやすい e スポーツの体験の機会を提供する。

5 高齢者住宅整備貸付金管理 **430 千円**

- (1) **管理事務受託事業** 430 千円
静岡県からの委託を受けて、平成 16 年度で貸付を終了した高齢者住宅整備資金の償還管理事務を行う。

6 連絡調整活動 **6,800 千円**

- (1) **県連活動推進員活動事業** 6,800 千円
県連合会に活動推進員を設置し、市町連合会、単位クラブの活動を促進するための研修会の開催や育成指導など、様々な事業を行う。

7 広報活動 **1,500 千円**

- (1) **広報活動事業（Ⅱ）** 1,500 千円
広報紙の発行、ホームページの運営、入会案内リーフレットの作成、配布等の広報活動を行い、クラブ活動を会員のみならず、県民に広く紹介し、会員加入の促進とクラブ活動の活性化に資する。

8 物資等斡旋活動 **1,400 千円**

- (1) **物資等斡旋活動事業（Ⅱ、Ⅲ）** 1,400 千円
単位クラブ用の会計帳票類や愛唱歌集、輪投げ用具等の斡旋及び広告協賛事業等の活動を行い、クラブ活動の活性化と組織基盤の強化を図る。

【組織運営】

- | | |
|-------------|--------------------|
| (1) 理事会 | 年3回（5、8、3月、他に臨時あり） |
| (2) 評議員会 | 年2回（6、3月） |
| (3) 連合会会長会議 | 年1回（12月） |
| (4) 監事会 | 年1回（5月） |
| (5) 表彰審査委員会 | 年1回（8月 理事会に併せて開催） |
| (6) 正副会長会議 | 随時 |
| (7) 女性委員会 | 随時（定例総会 5月） |
| (8) 若手委員会 | 随時（定例総会 5、3月） |

令和7年度収入支出予算総括表

単位：千円

区 分		収 入	支 出	差 引
実施事業会計	本年度	19,586	25,916	△ 6,330
	前年度	19,709	26,259	△ 6,550
	増 減	△ 123	△ 343	220
その他事業会計	本年度	2,800	2,500	300
	前年度	2,800	2,400	400
	増 減	0	100	△ 100
法人会計 (含投資・財務活動) (支出は含事業会計)	本年度	11,240	33,217	△ 21,977
	前年度	11,720	34,152	△ 22,432
	増 減	△ 480	△ 935	455
予 備 費	本年度		200	△ 200
	前年度		200	△ 200
	増 減		0	0
合 計	本年度	33,626	33,417	209
	前年度	34,229	34,352	△ 123
	増 減	△ 603	△ 935	332
前期繰越収支差額	本年度	11,863		11,863
	前年度	9,642		9,642
	増 減	2,221		2,221
次期繰越収支差額	本年度	12,072		12,072
	前年度	11,863		11,863
	増 減	209		209

注:破線で囲んだ部分は参考表記(「合計」欄には含まない)。

令和 7 年度収入支出予算

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

(単位: 千円)

会 計 ・ 事 業 科 目	本年度 (当初)	前年度 (当初)	増減	備考
「実施事業会計」				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 県受託金収入	3,836	3,959	△ 123	
① 介護保険利用者意識事前啓発事業受託金	1,438	1,438	0	
② ふじさんっこ応援隊推進事業受託金	1,968	2,096	△ 128	
③ 高齢者住宅整備資金償還事務受託金	430	425	5	
(2) 県補助金収入	9,328	9,328	0	
① 健康づくり支援事業補助金	900	900	0	
② 地域支え合い事業補助金	2,450	2,450	0	
③ 若手高齢者組織化・活動支援事業補助金	700	700	0	
④ 老人クラブ等活動推進事業補助金	5,278	5,278	0	
(3) 県助成金収入	6,422	6,422	0	
① 民間団体育成強化事業	4,322	4,322	0	
② 地域福祉促進事業	2,100	2,100	0	
(4) 雑収入	0	0	0	
① 雑収入	0	0	0	
事業活動収入合計	19,586	19,709	△ 123	

(単位:千円)

会 計 ・ 事 業 科 目	本年度 (当初)	前年度 (当初)	増減	備考
2 事業活動支出(参考)				注 1
(1) 健康増進活動	3,850	3,850	0	
① 高齢者いきいき創造広場開催事業費	1,600	1,600	0	
② 健康づくり支援事業費	900	900	0	
③ シニアスポーツ普及推進事業費	1,350	1,350	0	
(2) 友愛・奉仕促進活動	4,418	4,546	△ 128	
① 地域支え合い推進事業費	2,450	2,450	0	
② ふじさんっこ応援隊推進事業費	1,968	2,096	△ 128	
(3) 地域福祉等研修活動	4,838	4,838	0	
① 地域福祉人材養成事業費	2,200	2,200	0	
② 全国連合会研修会等参加事業費	1,200	1,200	0	
③ 介護保険利用者意識事前啓発事業費	1,438	1,438	0	
(4) 仲間づくり推進活動	5,800	5,800	0	
① 活動推進相談員活動費助成事業費	1,800	1,800	0	
② クラブ解散・休会等再興支援事業費	1,500	1,500	0	
③ 若手高齢者組織化・活動推進事業費	700	700	0	
④ 地域クラブ活性化事業費	1,800	1,800	0	
(5) 高齢者住宅整備貸付金管理事業	430	425	5	
管理事務受託事業費	430	425	5	
(6) 連絡調整活動	6,580	6,800	△ 220	
県連活動推進員活動事業費	6,580	6,800	△ 220	
事業費支出 計	25,916	26,259	△ 343	
事業活動支出合計	25,916	26,259	△ 343	
事業活動収支差額	△ 6,330	△ 6,550	220	
「実施事業会計」合計収支差額	△ 6,330	△ 6,550	220	

(単位:千円)

会 計 ・ 事 業 科 目	本年度 (当初)	前年度 (当初)	増減	備考
「その他事業会計」				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 広報活動事業収入	1,700	1,500	200	
広報活動収入	1,700	1,500	200	指定旅行社増
(2) 物資等斡旋活動事業収入	1,100	1,300	△ 200	
物資等斡旋活動収入	1,100	1,300	△ 200	販売減少
(3) 雑収益	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入合計	2,800	2,800	0	
2 事業活動支出(参考)			0	注 1
(1) 広報活動事業費	1,800	1,500	300	
広報活動事業費	1,800	1,500	300	広報紙契約変更、 ホームページ改修
(2) 物資等斡旋活動事業費	700	900	△ 200	
物資等斡旋活動事業費	700	900	△ 200	広告・物資斡旋
事業活動支出合計	2,500	2,400	100	
事業活動収支差額	300	400	△ 100	
「その他事業会計」合計収支差額	300	400	△ 100	

(単位:千円)

会 計 ・ 事 業 科 目		本年度 (当初)	前年度 (当初)	増減	備考
「法人会計」					
I 事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
(1) 基本財産運用収入		60	40	20	
基本財産利息		60	40	20	利息増
(2) 分担金収入		6,800	7,300	△ 500	
市町連合会分担金		6,800	7,300	△ 500	会員の減少
(3) 県助成金収入		4,380	4,380	0	
民間社会福祉団体等運営費助成金		4,380	4,380	0	
(4) 寄附金収入		0	0	0	
寄附金収入		0	0	0	
(5) 雑収入		0	0	0	
雑収入		0	0	0	
事業活動収入合計		11,240	11,720	△ 480	
2 事業活動支出(事業実施会計及び管理費)					
(1) 役員報酬		4,548	4,851	△ 303	
(2) 給料手当		7,570	7,900	△ 330	
(3) 福利厚生費		1,394	1,931	△ 537	
(4) 退職金		0	0	0	
(5) 仕入れ		820	820	0	
(6) 会議費		447	447	0	
(7) 旅費交通費		570	570	0	
(8) 通信運搬費		600	467	133	郵送料増
(9) 什器備品費		40	40	0	
(10) 消耗品費		750	650	100	物価変動
(11) 印刷製本費		500	500	0	
(12) 食糧費		300	300	0	
(13) 使用料賃借料		1,000	1,000	0	
(14) 租税公課		80	80	0	
(15) 負担金		1,250	1,250	0	
(16) 支払助成金		3,600	3,600	0	
(17) 報償費		200	200	0	

(単位:千円)

会 計 ・ 事 業 科 目		本年度 (当初)	前年度 (当初)	増減	備考
	(18) 支払手数料	90	90	0	
	(19) 車両維持管理費	190	190	0	
	(20) 保険料	36	36		
	(21) 委託費	9,000	9,000	0	
	(22) 支払利息	10	10	0	
事 業 活 動 支 出 合 計		32,995	33,932	△ 937	
実施事業及び法人会計収支差額		631	297	334	注 1
II 投資活動収支の部				0	
1 投資活動収入					
	(1) 特定資産取崩収入	0	0	0	
	① 退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	
	② 退職積立金差益収入	0	0	0	
投 資 活 動 収 入 合 計		0	0	0	
2 投資活動支出					
	(1) 特定資産取得支出	222	220	2	
	① 退職給付引当資産取得支出	222	220	2	
	② 退職積立金差損支出	0	0	0	
投 資 活 動 支 出 合 計		222	220	2	
投 資 活 動 収 支 差 額		△ 222	△ 220	△ 2	
III 財務活動収支の部					
1 財務活動収入		0	0	0	
財 務 活 動 収 入 合 計		0	0	0	
2 財務活動支出		0	0	0	
財 務 活 動 支 出 合 計		0	0	0	
財 務 活 動 収 支 差 額		0	0	0	
合計収支差額(実施事業+その他事業+法人)		409	77	332	

(単位:千円)

会 計 ・ 事 業 科 目	本年度 (当初)	前年度 (当初)	増減	備考
「全 体」				
予 備 費	200	200	0	
当 期 収 支 差 額	209	△ 123	332	
前 期 繰 越 収 支 差 額	11,863	9,642	2,221	
次 期 繰 越 収 支 差 額	12,072	11,863	209	注 2

注1)破線で囲んだ部分は、当該会計の収支差額のためだけに記載した参考表記である。

注2)「前年度」の「次期繰越収支差額」は、令和5年度決算書の「次期繰越収支差額」である。